

The Style-Oct2011

NPO法人 京都丹波・丹後ネットワーク

—里山スタイル—

—Contents—

- 1.style _____
映像と写真で綴る福知山
福知山と水害を考える
- 2.style _____
雲原砂防から地域力再生
たんたん information
- 3.style _____
雲原：北陵うまいもん市
たんたんの紹介
- 4.style _____
講座 information
たんたん講座シリーズ

映像と写真で綴る福知山

9月21日に正眼寺にて「映像と写真で綴る福知山」交流会を行ないました。この日は台風の影響から雨が強く開催するか最後まで判断が難しい状況でしたが、無事開催することができました。

1950年代の福知山を8mmビデオで撮影し現在まで保存してらっしゃる芦田均さんによる祭、橋、北丹鉄道の映像上映、そして写真のスライドショーで当時の福知山を振り返り、横川省三さんとヨシヤカメラの吉田博さんにより写真と当時の福知山の様子の解説をしていただきました。

映像、写真が出てくるたびに「懐かしい」「あったあった」という声が聞こえ、大変好評でした。

近いうちに、鉄道を主題にした交流会を予定していますのでその時に北丹鉄道の映像の続きを上映する予定です。

福知山の歴史・文化を語る人が少なくなっている今こそ、このような場を設け語り合うことが今後の福知山の在り方について考えていくいい機会になるのではないのでしょうか。

当NPOでは今後も様々な形で福知山の良さ、京都北部の良さを発信していきます。



◆今回の台風が思い出させた福知山と水害の歴史

9月は2度の大型台風が日本を直撃し全国各地に大きな被害を与えました。21日の台風は福知山でも避難準備情報が出されるなど由良川の水位を常に意識しての一日となりました。

福知山は水害に悩まされ続けた街です。古くから福知山に住み、水害を知っている人は常に由良川の水位を気にしています。

ですが近年、特に若い層の人に、その意識が希薄になってきている気がします。たしかに堤防などによる治水対策がしっかり出来ているのは素晴らしいことですが、それだけで完全に「安心」できるわけではありません。

普段から市全体で災害を常に意識し行動するような取組・訓練、災害時の知識を広めていくことが必要なのではないのでしょうか・・・。

◆たんたん information

●福知山市「ふくちやま造形フェスタ」

→ (10月22日)

10時～4時

場所：御霊公園

自然素材や廃材を利用して作られた作品を公園内に展示します。また、当日は展示だけでなくものづくりやゲームコーナーなどの体験コーナーもあります

●福知山市「福知山産業フェア」

→ (10月22日・23日)

9時30分～4時

場所：三段池総合体育館及び周辺
北近畿の企業・団体がブースを構え、展示・販売を行います

ほかに地場産品や飲食、観光PR、スタンプラリーなどもあります。また、東北地方復興支援コーナーを設けます

●舞鶴市「赤レンガアートフェスティバル」

→ (10月29日・30日)

場所：赤れんが倉庫群周辺

国の重要文化財に指定された明治・大正ロマンが色濃く残る赤れんが倉庫群などの近代遺産を舞台にアートフェスタ、食の祭典、ジャズライブなど多彩な催しを行います

●福知山市「ミニSLフェスタ イン 福知山2011」

→ (10月29日・30日)

10時～3時

場所：御霊公園、広小路通り、その周辺

ミニSLを走らせます。昨年から市民手作りのイベントとして開催しています。また、同時に各商店街でもいろいろなことをやっています

●舞鶴市「第13回旧海軍四市グルメ交流会」

→ (10月29日)

10時～売り切れまで

場所：舞鶴市役所周辺

旧海軍の軍港である舞鶴・呉・横須賀・佐世保の海軍グルメを堪能することができる四市で持ち回るイベント。今年は舞鶴で開催されます

たんたんPJ

雲原砂防から地域力再生を

雲原地域は周囲を山々に囲まれ、その山々を水源として由良川に注ぐ雲原川が貫流しており、土砂災害に悩まされていました。

昭和9年の室戸台風で大きな被災を受け、この災害復興事業が、18年もの歳月をかけて、周辺の基盤整備と一体となって進められました。

そして完成した雲原砂防は昭和初期から現在まで機能し、昭和の形を残した歴史的な価値があるものとして平成18年7月に砂防施設としては初めて国登録記念物第一号に登録されました。



みんなの水車プロジェクト

雲原砂防が造られた当時、どの地域でも生活道具としてあった「水車」をみんなの手で復元できないかと、平成20年度に新たな地域資源を作ることが決まりました。

地域の木工、土木、農業、林業、そば屋などといった地域の「匠」を中心に、地元木材の切り出しから始まり、作業は土曜日の夜と日曜日に行われました。途中から手伝ってくれる人を地域内外から一般公募もするなどして、建設にはたくさんの人が参加し、終盤は深夜まで作業が及ぶなか、それぞれが自分たちでできる最大限の協力を行い、水車は完成しました。

雲原地域の人達が自らの手で一から作った水車だからこそ、大切にし、有効に活用しようという強い思いが地元の人のお話からも伝わってきました。



この水車を使って精米した「水車米」は地域の特産になっています。

雲原では自分たちで作った水車を有効活用して、新たな特産物（水車米）を作ることのできる付加価値をつけての販売に成功しています。

水車米…公誠地域でとれるコシヒカリを水車米の玄米として使用し、水車でコットンコットン12時間かけて米をつき精米します。胚芽・糠になる表皮が残っているので栄養満点で美容・健康に良いです。付加価値をつけ、農家に新たな潤いをもたらすことで「水車米」の意義が生まれます

北陵うまいもん市

水車が完成した翌年、水車が建てられた広場を拡張し、多くの来訪者に地域の食材の提供や特産物の販売もできる「地域活性化交流施設」を建設する取り組みが始まりました。

施設の中には水車と同様に「当時は復元」するため、「おくどさん」や「いろり」を整備することが決まり、他県への視察も行い試行錯誤しながら復元され、「みんなの我楽家（わがや）」と名付けられました。

その後運営組織を立ち上げ、そこで「地域」を味わう厨房も完備する直販所として北陵うまいもん市が始まり、毎週日曜日に水車と共に「交流施設」として活躍しています。

日曜の直販（朝市）では、農家の方も農産物を提供するという形で積極的に協力しています。

完成した「みんなの水車」や「みんなの我楽家」は、雲原砂防とともに当時は思い起こす新たな資源として、また情報発信や地域内外の交流拠点として、これからの活躍が期待されています。

これらの取組は、地域の人達が主体となって、過疎化が進む地域を何とかしようとする目的を一つにして、少しずつ着実に成し遂げられていて、その積み重ねが地域の力となって大きな成果に結びついています。



小学校の危機から地域力再生を

公誠小学校閉校の危機に地元の人達が立ち上がり、若い人が住み続けられる地域をめざし、地域再生へ取り組みました。雲原砂防が国登録記念物に登録されたのを契機に川・砂防・水・自然を使った取り組みが行われました。

7月18日にはドラム缶レースが行われましたが、それもこの地域力再生への取り組みの一つです。

「他の地域ではやっていないことをしよう」と地域の人々が集まって話し合い、知恵を出し合って「ドラム缶×川」というこのイベントが誕生しました。

残念ながら昨年、公誠小学校は閉校となってしまいましたが、地域の人達は再び学校が開校するような地域を目指し力合わせて取り組んでおられます。

◆京都丹波・丹後ネットワーク

当NPOは中間支援団体として、団体や個人、資源などの地域財産を有機的に結び付け地域の活性化を図っているほか、里山活性化・地域活性化を目的とした産物の調査やイベントの開催など、京都北部の魅力を発信しています。

昨年の開設以来、中丹地域のお米の食べ比べ、歴史を使った地域活性化の交流会などを実施する中、ようやく地域間のネットワークが進み、地域のみなさんと持続的に協働事業が行える体制の兆しが見え始めました。今後もまた里山交流会を開催する予定でありますのでご支援、ご協力をお願いします。

現在、当NPOでは地域財産である人材・団体を募集しています。得意なもの（特技）を持っている方（料理が得意、腹話術が出来るなど）、知識・文化・歴史などに詳しい方、地域活性化・里山の活性化に興味がある方や何か力になりたいとお思いの方などジャンル、形は問いません。当NPOと一緒に北部地域を盛り上げてみませんか。

◆賛助会員・寄付を募集しております。

賛助会員（個人）1口：1000円～（団体）1口：10000円～ 寄付：1000円～

会員の申し込み方法はホームページをご覧ください→<http://www.kyoto-tantan.net/>

またお電話でも受け付けています。→TEL0773-45-3507（平日9時～17時）

みなさまのご支援、ご協力よろしく申し上げます。

講座

Information

◆ 情報発信講座シリーズ

● SNSワークショップ（フェイスブック活用編）
Facebookページを活用。ブログやツイッターとの連動などで効率よく情報発信を行なうための講座です。

- ・日時：10月21日（金） 16時～18時
- ・会場：当法人の事務所（福知山市昭和町77）※変更あり
- ・定員：5名（受講料：無料）
- ・講師：谷垣 翔（NPO法人京都丹波・丹後ネットワーク）
- ・主催：NPO法人京都丹波・丹後ネットワーク

たんたん講座シリーズ

地域のづくりや魅力の発信に役立てられる講座シリーズを開催。

当NPO法人ではジャンル別に講座を毎月開催しております。
（今後開催する予定の講座は情報発信講座、マネジメント講座、デジタルカメラ講座）

京都北部では地域にたくさん魅力があるにも関わらずうまく活用できていません。その魅力に気づかないまま、外の地域ばかり目を向けている現状があり、多様な資源、人材があってもなかなか地域に反映されません。そこで当NPO法人は北部地域の活性化をするためにまずそこに住む人たちの手で知識、知恵で活力を生み出していきたいと考え、講座を開催することに至りました。

▼今後の予定

▼情報発信講座

スマートフォン（アンドロイド端末）を活用した仕事術やSNSを使った情報発信などの講座

▼マネジメント講座

会計などのマネジメント講座を11月以降から開催を予定。（当NPO法人のホームページ、情報誌で告知します）

編集後記

今月は地域の人達が一丸となって地域力再生に取り組んでいる雲原地域の活動を取り上げました。

また、21日の交流会では福知山のまちなかを懐かしむ人がいると同時にその時代を知らない人が多くなってきていることを痛感いたしました。次の世代に地域の良さを知ってもらうためにも、地域の人を巻き込んだ動きをしていくのが必要だと感じます。

そのために私たちが出来ることをもっと考えていきたいと思えます。

発行元：NPO法人 京都丹波・丹後ネットワーク
〒620-0052 福知山市昭和町77 谷本ビル1F
TEL&FAX (0773) 45-3507
Eメール：tantan@kyoto-tantan.net